



看護学部

地域看護学領域

地域看護学領域のアピールポイント



地域看護学領域メンバー

本学の看護学部生は全員が看護師保健師統合カリキュラムを4年間で履修し、看護師と保健師の国家試験受験資格を得ます。私たち地域看護学領域は、保健師国家試験の受験に必要な科目を主に担当し、地域で暮らす人々が健康に生活を送るための看護教育を行っています。

領域メンバーも、これまで国内外の病院で看護師・助産師として従事した経験や看護管理、保健所等で保健師として健康教育をした経験を基に、教育・研究、地域保健活動に活かしています。

地域共創看護教育センター事業として、私たちは偶数月の第2土曜日に「Mum & Dad Café」を実施しています。外国人・日本人の父母が集まり、子育ての経験を共有し情報交換する場としています。新型コロナウイルス禍でも感染対策をして工夫しながら事業の計画・実施をしています。



とちぎわんぱく公園にて Mum & Dad Café

地域看護学領域の研究紹介

私たちの領域は、主に栃木県に根差した保健課題の解決に向けた研究活動に取り組んでいます。例えば、学生が今後保健師として十分力を発揮するために、保健師養成教育の在り方を検討する研究や、外国人父母が日本で育児をするための課題について一人一人にインタビューし、看護教育や地域保健の向上の一助となるよう取り組んでいます。